

「落花生」生育情報（第3報）

～ 基本技術を励行して収量増加！ ～

令和7年9月11日
千葉県農林水産部
生産振興課

※本資料は、落花生生産者へ落花生の生育情報を提供するものです。

調査時点での生育状況をまとめたものであり、本年の収量を予測するものではありません。

1 生育状況

1) 気象概況

6月以降、平均気温は平年を上回って推移しました。日照時間は7月中旬と8月上中旬に短くなりましたが、その他の期間は平年より長くなりました。降水量は7月上旬・下旬と8月中下旬に平年を下回りましたが、7月中旬、8月上旬、9月上旬は台風の影響により平年を上回りました。

2) 生育状況

9月1日に調査したところ、作況調査ほ（表1）では、乾燥さや実重は平年並みから多くなりました。ただし、「おおまさりネオ」で上さや数が少なくなっています。無かん水栽培の落花生研究室ほ場（表2）では、5月20日頃の播種において、上さや数は平年並みから少なく、特に「おおまさりネオ」では少なくなりました。また、6月9日頃の播種でも、「おおまさりネオ」の上さや数は少なくなりました。

8月上旬以降の降雨により、連作ほ場などの一部のほ場において、白絹病が多発しています。

表1 作況調査成績（9月1日調査）

品 種 名	年次	は種日	開花期	さや実数 (個/㎡)		生 さや実重 (g/㎡)	乾燥 さや実重 (g/㎡)	未熟粒 歩合 (%)
				総さや数	(うち) 上さや数			
千葉半立	本年	5/31	7/4	176	96	606	182	3.0
	平年	5/30	7/9	201	88	680	168	5
				(88%)	(109%)	(89%)	(109%)	(58%)
ナカテユタカ	本年	5/21	6/26	262	134	817	329	1.0
	平年	5/20	6/29	219	143	679	287	1.6
				(120%)	(93%)	(120%)	(115%)	(63%)
Qなつつ	本年	6/5	7/7	306	199	1022	367	3.3
	平年	5/30	7/7	229	135	796	249	2.5
				(134%)	(147%)	(128%)	(147%)	(132%)
おおまさり ネオ	本年	5/14	6/24	228	45	1019	225	1.0
	平年	5/23	7/2	281	58	1304	246	2.4
				(81%)	(79%)	(78%)	(91%)	(42%)

※本年値は、各調査地点の平均値。「千葉半立」は千葉・印旛・香取・山武地区、「ナカテユタカ」は千葉・海匝・長生地区、「Qなつつ」は印旛・香取・長生地区、「おおまさりネオ」は千葉・印旛・君津地区。

※平年値は、ほ場変更等がない限りは過去7年間（「千葉半立」、「ナカテユタカ」、「Qなつつ」）の調査データから最大・最小を除く平均。ただし、「おおまさりネオ」は過去4年間の平均値。

※カッコ内は平年値に対する比。ラウンド処理をした値。

※開花期は、1輪でも花が咲き始めた株がほ場全体の50%に達した日。

※未熟粒歩合は、上さやに含まれる子実のうち、成熟不良な子実の割合。

表 2 落花生研究室（八街市）の作況（9月1日調査）

は種日	品 種 名	開花期	さや実数（個/m ² ）		生 さや実重 （g/m ² ）	乾燥 さや実重 （g/m ² ）	未熟粒 歩合 （%）	収穫期 目安
			総さや数	（うち） 上さや数				
5月20日 （標播）	千葉半立	6/26 （－4）	335 （108%）	108 （ 99%）	959 （ 96%）	250 （114%）	3.0 （－4.9）	9/29 （－4）
	ナカテユタカ	6/25 （－3）	409 （120%）	142 （ 79%）	1,001 （ 99%）	353 （107%）	7.0 （＋0.6）	9/13 （－3）
	Qなつつ	6/26 （－3）	442 （136%）	111 （ 71%）	1,084 （109%）	328 （111%）	4.0 （＋1.6）	9/14 （－3）
	おおまさりネオ	6/26 （－2）	438 （121%）	15 （ 39%）	1,384 （ 87%）	303 （109%）	7.5 （－8.4）	9/24 （－2）
6月9日 （晩播）	千葉半立	7/7 （－5）	338 （149%）	109 （111%）	1,099 （136%）	272 （160%）	0.0 （－5.6）	10/10 （－5）
	ナカテユタカ	7/5 （－5）	343 （128%）	175 （107%）	1,061 （114%）	375 （139%）	4.0 （－1.0）	9/23 （－5）
	Qなつつ	7/6 （－6）	357 （156%）	150 （102%）	1,039 （128%）	332 （138%）	2.0 （－1.0）	9/24 （－6）
	おおまさりネオ	7/6 （－4）	352 （135%）	18 （ 76%）	1,367 （124%）	275 （154%）	2.5 （－4.5）	10/4 （－4）

* 栽植密度は 5,128 株/10 a、無かん水条件
* カッコ内は、令和 2～令和 6 年の平均値に対する差、又は比
* 未熟粒歩合は、上さやに含まれる子実のうち、成熟不良な子実の割合
* 収穫期の目安は、開花期後の標準日数（全て煎莢用）で算出

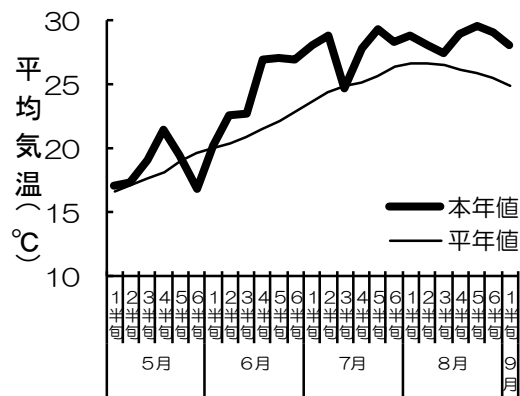


図 1 気温の推移（アメダス、佐倉）

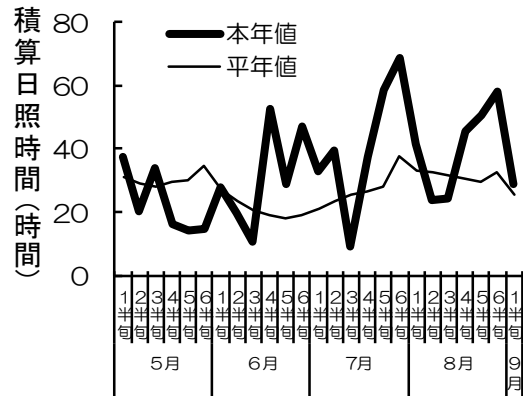


図 2 日照時間の推移（アメダス、佐倉）

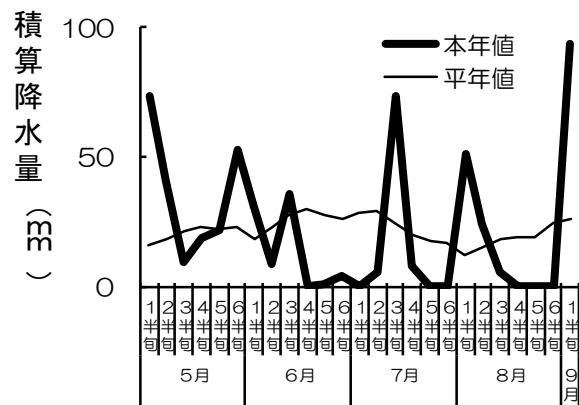


図 3 降水量の推移（アメダス、佐倉）

2 これからの管理のポイント

(1) 白絹病の防除

8月上旬以降の降雨により、ほ場が高温多湿となり、ほ場によっては白絹病が多発しています。今後も高温傾向が予想されますので、薬剤散布だけでは十分な効果が望めない場合は、罹病株を株元の土ごと除去し、被害の拡大を防止しましょう。

薬剤の使用に当たっては、収穫前使用日数に注意しましょう。薬剤散布は、農薬のラベルに記載された使用基準に従い行ってください。

表3 防除薬剤

適用薬剤名	希釈倍数等	使用時期／回数
アフエットフロアブル	2,000 倍	収穫前日まで／3回

(2) 「試し掘り」で適期収穫

落花生の掘取時期の目安は、下表のとおりです。

今年は生育が平年よりもやや早く、高温傾向が続いており、収穫が早まる可能性があるため、必ず試し掘りをして、収穫適期を逃さないようにしましょう。特に砂地の地域では収穫時期が早まる傾向にあるので、早めに試し掘りをしてください。

掘り遅れた場合、「ナカテユタカ」は食味が低下し、「Qなつつ」は落ち実が発生しやすくなるので、特に注意が必要です。

表4 開花期からの掘取時期の目安（平年的な気象条件の場合）

	千葉半立	ナカテユタカ	Qなつつ	おおまさりネオ
開花期からの掘取時期の目安	9 5 日後	8 0 日後	8 0 日後	8 5 日後 (ゆで豆用)

表5 落花生研究室（八街市・マルチ栽培）での収穫期目安（平年的な気象条件の場合）

品種	は種日	収穫期目安	品種	は種日	収穫期目安
千葉半立	5月10日*2	9月24日	Qなつつ	5月10日*2	9月 8日
	5月20日*1	9月29日		5月20日*1	9月14日
	5月30日*2	10月 4日		5月30日*2	9月19日
	6月 9日*1	10月10日		6月 9日*1	9月24日
	6月20日*2	10月18日		6月20日*2	10月 4日
ナカテユタカ	5月10日*2	9月 7日	おおまさりネオ	5月10日*2	9月13日
	5月20日*1	9月13日		5月20日*1	9月19日
	5月30日*2	9月18日		5月30日*2	9月23日
	6月 9日*1	9月23日		6月 9日*1	9月29日
	6月20日*2	10月 4日		6月20日*2	10月 7日

*1：落花生研究室の作況調査ほ場における調査結果

*2：令和5年度試験研究成果普及情報「気象データを活用した落花生の開花期予測モデルの開発」を活用し、アメダス佐倉の日平均気温を基に各は種日の開花期を予測して算出した

収穫適期判断法

「ナカテユタカ」及び「Qなっつ」は、さやの裏の色で収穫適期が判断できます。

＜方 法＞

- ①ほ場の中で生育が中庸な4株を掘り、それぞれの株もとのさやを5つとり、さやの裏の色を見ます。
- ②合計20個のさやのうち、その半数以上の色が淡褐色(写真十)以上になり、黒褐色(写真+++)のさやがひとつでも見られたときに掘取りの適期です。
- ③開花期から予想される適期の7日前から、2、3日おきに試し掘りをして判定します。



(3) 適切な乾燥の実施

掘り取った落花生は、地干しの後、風通しの良い場所を選んで野積み(ぼっち積み)やトンネル乾燥を行い、さらに乾燥させます。

〔野積み (ぼっち積み)〕

野積みは、湿気がこもらないように管理することが大切です。5～7日間の地干しの後、風通しの良い場所に小さく野積みし、頂部をブルーシートや稲わら等で覆い、雨をしっかりと防ぎましょう。透明ビニールシートは熱がこもりやすく、カビの発生要因となるため、使用しないでください。特に早い時期に収穫した品種は、茎葉が多く蒸れやすいため、注意が必要です。



野積み

〔トンネル乾燥〕

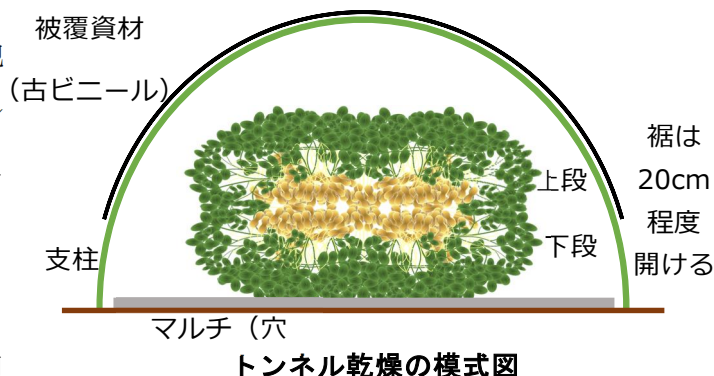
トンネル乾燥は、収穫後3～7日程度地干しを行った後に、降雨の前に雨よけトンネルに入れて乾燥を行う方法です。カビを発生させることなく、野積みによる乾燥と同じ品質の落花生を得ることができます。

トンネル内では、地干しした株のさやが内側になるよう上下2段で積み、

2～3週間程度乾燥させます。

詳細は、フィールドノート平成30年9月「雨よけトンネルを活用した食味を落とさない落花生の乾燥方法」(二次元コード)を参照してください。

(<https://www.pref.chiba.lg.jp/ninaite/network/field-h30/hata-2018-09.html>)



〔野積み（ぼっち積み）とトンネル乾燥の使い分け〕

地干し後の乾燥方法は、収穫時期によって野積みとトンネル乾燥を使い分けると効果的です。9月は、気温が高く、カビ等による品質の低下を防ぐため、トンネル乾燥を、10月以

収穫時期	9月			10月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
降雨時の カビ発生リスク	大		中	小		
トンネル乾燥で の乾燥速度	早		中		遅 (朝露が原因)	
トンネル乾燥 適期						
ぼっち乾燥 適期						

降は、外気温が低下し、トンネル内に結露が発生して乾燥しにくくなるため野積みを推奨します。

〔農業用コンテナを用いた乾燥法〕

収穫後3～7日程度地干しを行い、さやの表面を十分乾燥させた後に脱莢し、農業用コンテナに入れて通風乾燥する方法です。1基で約5アール分のさや実（約190kg）を1週間で乾燥できます。電源や設置場所が必要となりますが、天候に左右されずにきれいで乾燥したさや実を得ることができます。詳しくは試験研究成果普及情報「農業用コンテナと除湿機を用いた落花生の安定的な乾燥法」（二次元コード）を参照してください。（<https://www.pref.chiba.lg.jp/ninaite/shikenkenkyuu/documents/r6n10.pdf>）

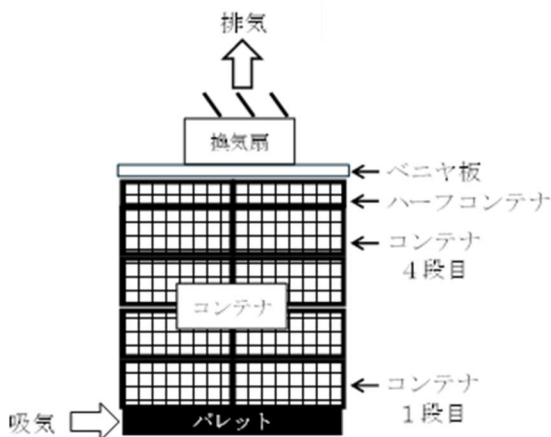


図 1 コンテナ乾燥装置の模式図

- 注 1) 吸気口、排気口以外の外周部分はビニールシート等で覆い外気を遮断する
- 2) 換気扇は台所用換気扇（最大静圧 21Pa）。換気扇サイズの穴をあけたベニヤ板にはめ込み、コンテナ上に載せる。換気扇の羽とコンテナの接触を避けるため、4 隅にハーフコンテナを設置する。
- 3) パレットは 1100×1100×120 mm
- 4) コンテナは一般的な農業用コンテナ
- 5) 約 5 アル分のさや実を乾燥できる

図 2 簡易テントの設置状況

- 注1) ブルーシートで簡易テントを作り、内部にコンテナ乾燥装置と除湿機（DM-10、ナカミ製）を設置した
- 2) 除湿機の除湿能力は21L/日（500w）。ブルーシートは5.6×3mでつなぎ目をクリップや養生テープで封じた。コンテナ乾燥装置は図1と同じ
- 3) 価格は、パレット1枚、換気扇1台、コンパネ1枚、除湿機1台で約70,000円。ブルーシート3枚、ハーフコンテナ4個、コンテナ24個で約70,000円

(4) 優良種子の確保

来年の落花生栽培のため、自家採種する種子を多めに確保し、発芽不良の原因となる幼芽褐変がないか、確認しておきましょう。

自家採種では、異型株・異型莢を除去するとともに、十分な乾燥により、カビを防ぎ、優良種子の確保に努めましょう。

また、自家採種を続けると品質や収量が低下する恐れがありますので、3～4年に1度、計画的に種子更新を行うことをお勧めします。

＜幼芽褐変の見分け方＞



健全種子



幼芽褐変 軽度
本葉が褐変
出芽率9割



幼芽褐変 中程度
胚軸上部が褐変
出芽率6割



幼芽褐変重症
本葉全部と胚軸上部が褐変
出芽率1割

(5) 「栽培管理記録簿」の記入

「栽培管理記録簿」は、生産者自身が栽培管理や使用した肥料や農薬散布の状況を記録し、栽培管理を点検することにより、生産性や品質の向上に役立つものになるとともに、それらを開示することで、千葉ブランド落花生の「安全・安心」を消費者へアピールすることにもつながります。

出荷時に集荷業者に速やかに提出できるよう、もう一度内容を確認し、自分の保存用に控えを用意しておきましょう。

(6) 台風対策

大雨時の冠水を防ぐため、栽培中だけでなく掘取後の乾燥中においても、明渠を掘る等、ほ場の排水対策を行いましょう。